

令和4年度  
神奈川県立山岳スポーツセンター  
維持管理事業実施状況総括書

公益財団法人 神奈川県公園協会

## I 維持管理事業計画の実施状況

項目	細項目	実施状況
I サービスの向上 1 指定管理にあたっての考え方、運営方針等	(1) 指定管理業務全体を通じた団体等の総合的な運営方針	・山岳スポーツセンターの設置目的及び山岳スポーツの拠点施設であることを把握して施設運営を行った。
	(2) 秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの一体的な管理運営にあたっての基本的な考え方	・秦野戸川公園内にある3施設（秦野戸川公園パークセンター、秦野ビジターセンター、山岳スポーツセンター）で利用促進、問題等の改善のため連携を図った。 ○8/28 星空観察と親子体験クライミング 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ○1/28 三館合同イベント「みんなで登る・作る・学ぶ」 山岳 SC「登る」・公園「作る」・秦野 VC「学ぶ」 参加者4名 指導員4名
	(3) 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	・日頃から「公平」、「透明性」、「厳正」に対応した。 ・利用者満足度アンケートを実施し利用者ニーズの把握に努めた。 ・ゼロエミッション等環境に配慮した維持管理に努めた。
	(4) スポーツ・競技振興に関する考え方	・登山愛好者やクライミングウォール愛好者はもとより、何方にもきめ細かく対応しスポーツ振興に努めた。 ◇神奈川県山岳連盟の協力を得て底辺拡大のイベントを実施した。 ○4/21 秦野丹沢まつり 山開き体験クライミング 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ○7/16～17 親子シャワークライミング・星空観察ほか 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ○8/11 山の日イベント 親子体験クライミング 参加者19名 指導員6名 ○10/1 親子でチャレンジクライミング（県民スポーツ月間） 参加者9名 指導員4名 ○10/15 秦野戸川公園まつり親子体験クライミング 参加者5家族10名 指導員5名
	(5) 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等	・高度な技術や専門的な資格を要する業務は専門業者に委託し、適正な維持管理に努めた。 *別紙委託業務一覧表参照
2 施設の維持管理	(1) 一体的な管理運営による効率的な維持管理	・植物管理等、直営業務を相互に兼務するなど、効率的な維持管理に努めた。
	(2) 清掃、保守点	(施設、保守管理)

	<p>検、受付等の維持管理業務の実施方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成9年度の開館から25年が経過し施設の経年劣化による要補修箇所が増加している。</li> <li>・物品管理に当っては毎月初めにチェックして適正管理に努めた。</li> </ul> <p>(清掃管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秦野戸川公園との一体的な管理となり、委託による清掃管理を行うことにより常に清潔で快適な環境の維持に努め、適正な日常管理を行った。</li> </ul> <p>(宿泊施設管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に食堂、厨房の衛生面、トイレ、シャワー室のきめ細かな清掃に配慮し清潔で安全な施設の維持に努めた。</li> <li>○「新型コロナウイルス対応ガイドライン」により、検温、体調管理の報告を定め、館内においては、マスクの着用、手指消毒の徹底、使用後には職員による定期消毒を行うなど、感染症拡大防止に努めた。</li> <li>・山小屋及びキャンプ場の管理者等に対する衛生講習会</li> <li>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>・館内害虫消毒 1回目 5/16 2回目 12/19</li> <li>・給水施設の点検及び水質検査 1/20、2/28</li> </ul> <p>(植物管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中低木類の剪定は直営で行い、環境の維持に努めた。</li> <li>・クライミングウォール前の観覧席の芝生は、専門業者に発注し特に重点的な維持管理を行い良好な状態の保持に努めた。</li> <li>・季節の草花を館内に植え維持管理して来館者が和めるように努めた。</li> </ul>
<p>3 利用促進のための取組み、利用者への対応、利用料金</p>	<p>(1) より多くの利用を図るために行う広報、PR活動の内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県のキャッシュレス化推進の取組の一環として、県スポーツ課より要請を受けて、11月よりキャッシュレス化を導入し、利用者の利便性向上を図りました。</li> <li>・「山岳スポーツセンター条例」及び「利用等に関する規則」を遵守し利用者の確保に努めた。</li> <li>・団体利用者間で事前調整がなされ、予約が重複するなどのトラブルがなかったので、利用調整会議は開催しませんでした。</li> <li>・大倉バス停、秦野戸川公園パークセンター及び山岳スポーツセンター付近の案内掲示を更新するなどして利用者の拡大を図った。</li> <li>・平成21年度のホームページ開設から14年目となり、最新の情報や施設案内を掲示することによって、施設の利用が</li> </ul>

	円滑に行われるよう努めた。
(2) より多くの利用を図るために実施する登山・山岳競技等の振興に関する取組の実施方針、内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/10～11 第 27 回クライミングコンペオール神奈川 2022 兼①第 77 回国民体育大会県代表選手候補選考会 兼②2022 年度神奈川県ジュニア強化選手候補選考会 ①参加者 82 名②参加者 75 名</li> <li>・ 5/15 第 3 回視覚障がい者体験クライミング 参加者 10 名 指導員 5 名</li> <li>・ 8/11 秦野市・県山岳連盟主催山の日イベント ①親子体験クライミング 参加者 19 名 指導員 6 名 ②登山初級者講習 参加者 16 名 講師 4 名</li> <li>・ 9/25 第 2 回神奈川選抜スポーツクライミング大会 (関東小中高選抜スポーツクライミング神奈川県予選会) 参加者 46 名 (小学校 13 校 中学校 8 校 高校 9 校)</li> <li>・ 県民スポーツ月間 (10 月) 13～14, 16 日 施設無料開放日 利用者 18 名</li> <li>・ 11/3 高体連新人スポーツクライミング大会 参加校 11 校 生徒 57 名 役員 21 名</li> <li>・ 11/6 第 36 回かながわ県民登山 参加者 18 名 役員 27 名</li> <li>・ 県山岳連盟と連携を図り、登山活動を通して心身とも健全 県民の育成を目標として、登山指導者育成、クライミング 普及事業等各種円滑な事業実施に取り組む。</li> <li>●委託事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①リードクライミング教室：年 7 回 受講生 164 名</li> <li>②スピードクライミング教室：年 4 回 受講生 32 名</li> <li>③委託研修：年 13 回 参加者 671 名</li> </ul> </li> <li>●岳連自主事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①登山教室：年 13 回 参加者 137 名</li> <li>②冬山教室：年 1 回 (全 5 回) 参加者 24 名</li> </ul> </li> </ul> <p>※別紙令和 4 年度山岳スポーツセンター利用計画兼山岳連盟行事表参照</p>
(3) 利用料金の設定、減免の考え方	・ 県山岳スポーツセンター条例第 13 条に基づき、県の承認を得て行った。
(4) 接客、苦情処理、利用指導等の考え方	・ 利用者の声に耳を傾けつつホームページ、パンフレット、施設利用案内チラシで公正に説明し、利用者のご理解を頂きながら利用承認事務を行った。
(5) サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者満足度調査を実施した要望事項について対応した。 4～9 月 (上半期) 10～3 月 (下半期)</li> <li>・ 自動販売機は、屋外に移設し 13 年目となり、利用者への</li> </ul>

	及びその内容の事業等への反映の仕組み	<p>利便を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な施設利用案内をパークセンター内、大倉バス待合所付近、山岳スポーツセンター玄関前に掲示した。</li> <li>・ホームページで、施設予約状況を小まめに更新し利用者の利便を図った。</li> <li>・夏場に屋外クライミング施設の上部に日除け・雨よけテントを設置、また、大型扇風機を置き熱中症対策を行った。</li> <li>・宿泊棟和室、洋室全室のカーテンを夏冬で交換し、利用者の快適利用を図った。</li> </ul>
4 事故防止等安全管理	(1) 通常の指定管理業務を行う中での事故防止等の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止、火災防止や犯罪発生防止のため職員不在の夜間休館日の機械警備委託を行い安全の確保に努めた。</li> <li>・「事故防止点検マニュアル」により日常点検を実施して事故防止に努めている。</li> <li>①ゴールデンウィーク期間中の緊急連絡体制</li> <li>②年末年始緊急連絡体制</li> <li>③地震・風水害警報時の緊急体制</li> <li>④山岳スポーツセンター緊急連絡網</li> <li>⑤休日等県スポーツ課事故等体制表</li> <li>・職員による施設の随時日常チェック実施</li> <li>・クライミング利用者への利用開始前の事故防止の周知</li> <li>・「施設点検チェックリスト」による日常管理実施。</li> </ul>
	(2) 事故、異常気象等の緊急事態が発生した場合の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や災害発生時等の緊急時の体制および初期対応に従い適切な備えを行った。</li> <li>・大雨警報等発表時には施設点検パトロールを実施しスポーツ課へ報告。</li> <li>・事故等の発生は無し</li> </ul>
	(3) 急病人等が生じた場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級救命講習受講者の配置、AED 設置により急病人等の発生に備えた。</li> <li>・対応マニュアルにより対応</li> <li>・発生は無し</li> </ul>
	(4) 登山・山岳競技の危険性に鑑み、指定管理業務を行う際の事故防止等の安全確保に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が随時施設の巡視チェックを行い保全に努めた。</li> <li>・クライミングウォールの安全な利用のため、ホールドの設置状況、駆動装置の適正な稼働、スピード壁オートビレイ機の毎月点検等随時専門業者に委託する等して保全に努めた。</li> </ul>
	(5) 当該公園の「震災時対応の考え方」に示す初期対応等への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模地震発生時の参集体制と配備体制を適切に整えた。</li> <li>・緊急参集訓練を秦野戸川公園と合同で実施 5/18</li> </ul>

	(6) 大規模災害発生時の施設の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練 1回目 9/16 2回目 3/10</li> <li>・BCB（事業継続計画）策定</li> </ul>
5 地域と連携した魅力ある公園づくり	(1) 地域人材の活用、地域・関係機関との協力体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県委託事業の円滑な推進について県山岳連盟と調整を図りました。</li> <li>○体験クライミングは、県山岳連盟の指導員の協力を得て行い利用拡大を図った。</li> </ul>
	(2) ボランティア団体等の連携、協働及び育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹沢山小屋組合と連携を密にして山岳情報の収集、意見交換を行い利用者の利便を図った。</li> </ul>
	(3) 周辺地域との交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山岳事故情報等情報収集</li> <li>登山者遭難救助連絡会で得た情報を登山愛好者や登山教室で伝え安全登山の一助に努めた。</li> </ul>
	(4) 一体的な管理における地域企業等への一括的な業務委託による迅速、かつ、きめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に精通している地域企業への優先発注のほか、地元非営利団体等への業務委託を行った。</li> </ul>
	(5) 企業のCSR活動（社会的責任、社会貢献）や学校等との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元中学校2校（渋沢、本町）の職場体験の受け入れなど地域との連携</li> <li>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</li> </ul>
	(6) 地域振興に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足等の利用による屋外2mクライミングウォールの案内、秦野戸川公園と連携した運動等の利用促進等を行った。</li> </ul>
II 管理経費の節減等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な作業及び職員の努力で人件費の縮減に努めた。</li> <li>・宿泊棟全室のカーテンを厚生地製に交換する等光熱費の節減に努めた。</li> <li>・利用者の協力を得ながら節減に努めました。東日本大震災以後、特に節電に努めており、利用者にも協力を頂いている。</li> </ul>
III 団体の業務遂行能力 1 人的な能力、執行体制	(1) 指定期間を通じて両施設を効果的・効率的に指定管理を行うための人員配置等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤館長1名（兼務）、副館長1名、総括管理主任1名（兼務）、専門員（山岳施設担当）1名、パート職員（維持管理等）3名（内兼務2名）を配置。</li> <li>・毎月月末に翌月の勤務計画を作成し円滑な管理運営を行う体制づくりに努めた。</li> <li>・良好な管理運営に必要とする知識、技術の習得を図る研修、</li> </ul>

		講習会を受講し職員の能力向上を図った。 ○実務担当者研修
	(2) 業務の一部を委託する場合の管理 ・指導体制の状況	・日報の提出や現地確認等により指導監督を行い、業務完了後は完了検査を行うなど、適切な指導監督に努めた。
	(3) 指定期間を通じて安定して指定管理業務を行うための人材育成や職員採用の状況	・山岳スポーツセンターの設置目的を把握し知識及び経験を有する職員を確保した。 ・山岳関係の知識や経験豊富な人材に加えて施設管理能力がある優秀な人材が確保できた。また、27年度から秦野戸川公園との一体的な管理となり施設維持管理面での適正な対応ができた。
2 コンプライアンス、社会貢献	(1) 指定管理業務を実施するために必要な団体等の諸規程の整備、法令遵守の徹底に向けた取組の状況	・「条例」「利用規則」「(公財)神奈川県公園協会規則」各種法令等に基づき施設の適正管理に努めた。 ・事務処理、会計、利用承認等関係規則を遵守して執行した。
	(2) 個人情報の保護についての考え方 ・方針及び個人情報の取扱いの状況	・「公益財団法人神奈川県公園協会個人情報保護規定」により適正に取り扱いをした。 ・パソコンはパスワード設定し使用管理している。 ・データバックアップのため新たにサーバーを設置した。 ・書面、データ類は鍵の施錠できるキャビネットに保管。
	(3) 指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	・平成15年度から「環境指針」を定め環境への負荷の軽減に取り組んでいる。 ・ゼロエミッションへの取組として、コピー用紙の裏面再利用、環境製品の使用、電気、ガス、水道、灯油等の使用削減に努めている。 ・剪定樹木、落葉等の施設内処理を実施。環境に配慮したサイクル利用を図っている。 ・地球規模の環境対策が求められており、職員一人一人が自然に親しみながら共生できる社会を目指す意識の継続を図っている。

## II まとめ

第4期指定管理業務1年目がスタートしました。依然として新型コロナウイルス感染者数が減少しない中、施設運営につきましては、「新型コロナウイルス対応ガイドライン」を遵守の上、夏休み期間に合わせ、7月21日から収容人数（宿泊）を20名から30名に、さらに10月26日からは44名までとし対応を図りました。感染拡大防止により、秦野丹沢まつり山開き体験クライミングや夏の星空観察と体験クライミング等は中止としましたが、国民体育大会県代表選手候補選考会、神奈川県ジュニア強化選手候補選考会、神奈川県選抜スポーツクライミング大会のほか、視覚障がい者体験クライミング、山の日イベント体験クライミングなど感染対策の徹底や人数制限により実施しました。今後も利用者に安全・快適なサービスの提供及び引き続き感染症対策を徹底するなど管理目標達成に向け取り組んでまいります。

### ●利用実績

新型コロナウイルス状況下の中、一部制限（宿泊利用人数）をしましたが、前年度臨時休館（4月8日～10月24日）の措置をした比較では、利用収入2,198千円増の3,234千円、利用者数は4,747人増の8,909人の利用でありますが、コロナ前実績での利用収入約6,000千円に対して46%減、さらに管理目標としていた利用者数11,000人には届かず、長期にわたる新型コロナウイルス感染症に伴う運営は、主に宿泊利用に影響が表れ、利用収入及び利用者数とも大幅な減少によって厳しい状況が続いています。今後は新型コロナウイルス感染対策を行いつつ、コロナ禍前の利用状況回復に向け取組を行っていききたい。

### ●施設利用者の状況

(人)

項目	利用者数	全体比%	R3年度	増減
宿泊利用	951	10.7	286	665
休憩利用	354	4.0	336	18
研修室利用	1,317	14.8	608	709
屋外クライミング	6,287	70.5	2,932	3,355
総利用者	8,909	100	4,162	4,747

### ●施設利用収入額の状況

(円)

項目	利用収入	全体比%	R3年度	増減
宿泊等利用	1,923,544	59.5	500,158	1,423,386
研修室利用	67,834	2.1	29,310	38,524
屋外クライミング	1,243,200	38.4	506,755	736,445
総徴収額	3,234,578	100	1,036,223	2,198,355

### ●一般利用者の状況（人） 総数 5,761名

見学	トイレ	申込・下見	2mトラバース	その他	電話問い合わせ			計
					施設	山岳情報	観光他	
1,936	12	8	2,851	56	889	3	6	5,761

※参考（R2年度4,770名、R3年度2,745名）